平成３１年度学校経営計画

安浦中学校区　校番　３４　学校名　呉市立安浦小学校

学校長名　山﨑　義之

Ⅰ　学校教育目標

ふるさとを愛し，よりよい未来の創り手となる児童の育成
～　学ぶ　つながる　役に立つ　～

Ⅱ　ミッション(地域社会における自校の使命･存在意義)

○　自校や郷土に誇りと愛着をもち，地域社会に感謝・貢献する児童の育成
○　様々な人々と協働して，主体的に課題解決に取り組む児童の育成

Ⅲ　ビジョン（目指す学校像・自校の将来像）

予測困難な時代に一人一人が未来の創り手となることが求められています。安浦中学校区は，よりよい小中一貫教育を通じてふるさとを愛し，よりよい社会を創るという目標を共有し，防災教育と地域に根ざした主体的な学びを推進し，地域と連携・協働しながら，未来の創り手として必要な資質・能力を育む。

Ⅳ　現状分析

本年度は学校統合し４年目である。義務教育学校の使命である「学力の定着」と「社会性の育成」のための基盤づくりはもちろん，４年目としてスタートする学校として，学校文化の創造・継承や保護者・地域に信頼される学校づくりがさらに求められる。どの児童も「この学校へ通うのが楽しい」と思え，保護者・地域が「この学校へ通わせてよかった」と思えるような学校経営を行っていかなければならない。

昨年７月の豪雨災害で安浦は大きな被害を受けた。そこで，自分の命は自分で守る能力を身に付けるとともに，人や地域との絆の大切にし，ふるさと安浦の未来の創り手として，災害に強い町づくりを推進していく資質や能力を育成することが責務である。

また，学力調査結果から，生きて働く知識・技能の確実な定着とともに，知識・技能を活用していく思考力・判断力・表現力の育成が課題であった。

そのため,「チーム安浦」として全ての教職員がベクトルを合わせ組織的に取り組み，学校教育目標やミッション・ビジョンを具現化するために,「学びづくり」「心づくり」「仲間づくり」「安全づくり」の４つの柱の充実を図っていく。

Ⅴ　目標及び取組

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
★★★ 【確かな学力の育成】 課題発見･解決学習を通して,学力の定着と向上を図り,主体的な学びを促す。	（1）主体的･対話的で深い学びを実感する授業に改善し，思考力・判断力・表現力を高める。	◎　単元構成逆向き設計シートによる課題発見・解決学習の単元開発をする。 ○　パフォーマンス課題の質を高める。 ○　学習意欲を喚起するような導入を工夫する。 ○　身に付けさせたい力を明確にする。(明確なめあて) ○　目標に迫る問いを児童から導き出す。 ○　問題解決の見通しを持たせる。 ○　教師が話しすぎず，児童が自ら思考し，表現できるような言語活動を充実させる。 ◎　ペアやグループなど目標を達成させるために協働的な学び合いの場を適切に設定する。 ◎　思考の可視化・操作化を行い，情報（意見）を整理・分析する場を工夫する。 ○　めあてに対応したまとめを児童の言葉で表現する。 ○　児童が自らの見方や考え方の高まりや学習の仕方を振り返ったり，それらを活用できる場面を考えたりする「振り返り」の場を設定する。 ○　思考が整理されるノート指導をする。 ○　根拠をもとに理由や主張を言わせる。 ○　多様な考えを引き出す問いを工夫する。 ◎　総合的な学習の時間の単元計画を作成し，資料等を蓄積する。 ◎　地域の教材化を図る。

	(2)生きて働く知識・技能を身に付ける。	○　めあてを達成できないと予想される児童に対して手立てを講じる。 ○　予習・復習等家庭学習を充実させる。 ◎　帯タイムの内容を学校で統一して取り組み充実させる。 ○　身に付ける知識・技能を明確にし，スモール・ステップで身に付けさせる。 ◎　個に応じた指導のため，指導方法や指導体制を工夫改善する。
★★ 【豊かな心の育成】 感謝と貢献の心を持ち,協働して取り組むことのできる心を育む。	(1)正しい判断力を身に付ける。	◎　パワーアップ週間等で安浦スタンダード（あいさつ・返事・靴そろえ・黙々掃除）を徹底させる。 ○　道徳教育，人権教育を充実させ，相手を思いやる心を育てる。 ○　自他の良さを気付き認め合う活動を仕組む。 ○　いじめ撲滅プロジェクトを機能化させる。
	(2)みんなのために行動する心を育て,自己有用感を高める。	○　感謝の気持ちを伝える活動を仕組む。 ○　縦割り班活動を充実する。 ○　学校行事や委員会活動など特別活動を充実する。 ◎　地域の人材を活用したり，地域に出かけたりすることで地域に貢献する。 ○　児童が主体的に取り組むよう学級活動を充実する。 ◎　異学年交流の場を設定する。
★ 【健やかな体づくり】 健康な体をつくり，自分の命は自分で守る力を身に付ける。	(1)災害から自分の命を守る児童を育成する。	◎　呉の防災教育の手引きを活用し，着実に実践し，活用実践事例集を作成する。 ◎　防災教育の自主教材を作成したり，新たな教材を開発したりする。 ○ 土砂災害を想定した地域と合同の避難訓練等を実施する。 ○ 過去の地域の災害の資料を収集する。
	(2)健康な体つくりと体力の向上を図る。	◎　呉チャレンジマッチに挑戦する場を設定したり，記録を掲示したりするなど積極的に取り組む。 ◎　「いきいき生活カード」により，基本的な生活習慣を身に付け，健康な体を作る。 ○　食育を推進し，朝ご飯を３色そろって食べる子を増やす。 ○　体育の授業改善と水泳教室等体育的行事を充実させることで，体力を向上させる。 ○　休憩の２分間の体力作りを充実させる。 ○　自己の体力の課題を明らかにし，計画的に体力つくりに取り組む。
【働き方改革】 業務改善と働き手の意識改革をする。	(1)児童と向き合う時間を確保し,長時間勤務を縮減する。	○　業務改善研修を行い，校内の業務改善を進めるとともに，効率的な働き方を話し合う。 ○　衛生推進委員会で毎月の時間外勤務時間を知らせ，自己の働き方の改善に生かす。 ○　会議を精選し，放課後の個別指導の時間を確保する。 ○　自己の退校時間を決め，効率的に業務を行う。